10月29日 土曜日 28日発行 昭和30年 西暦1955年
内外タイムス THE NAIGAI TIMES
発行所 内外タイムス社
第3262号
4版

四国外相会議 第一日
基本政策を明示
二日目から本格討議へ

【ジュネーヴ二十七日発ロイター＝共同】四国外相会議第一日目は二十七日午後四時（日本時間二十八日午前零時）パレ・デ・ナシオンで開かれ、約三時間半の討議の後終了した。

……から始まるので、このような技術的な問題に関する紛糾を過大に評価して会議の前途を予想するわけにはゆかないだろう。

なお、ピネ仏外相は二十八日信任投票のためパリに帰るが、二日目の会議開催までにはジュネーヴにもどる予定である。

会議は11月19日まで

【ジュネーヴ二十七日発UP＝共同】米、英、仏、ソ四国外相会議は二十七日の会議で外相会議の期間を十一月十九日までとする準備委員会作成の日程を承認、この旨同日の議長ピネ外相から発表された。会議は土、日曜をのぞき毎日午後開かれるが、十一月一日（ソ連休日）は休会となる。なお最終日の十一月十九日は閉会式に当てられるものとみられる。

保守と対決・倒閣へ
社会党の国会闘争方針決る

社会党は二十八日午前十一時から院内で七役七局長会議を開き、臨時・通常両国会の具体的闘争方針を検討した。社会党は闘争の基本的態度の重点を保守勢力との対決におき、究極的に保守党内閣を打倒することとしており具体的には臨時国会でこれら闘争の勢力を結集し、通常国会で内閣不信任案を提出する方針をとっている。

一、基本的態度＝鳩山内閣は保守合同によって憲法を改悪し、選挙法を改正しようとしており、臨時、通常国会に提出を予想される法案や予算にもこの反動性は一貫して流れている。社会党はこれに対し生活安定の基本政策で対決し国会内外の闘争を展開することによって、通常国会で内閣不信任案を提出する。

一、臨時・通常国会闘争方針 外交政策＝鳩山内閣の外交に対しては次の態度で政府を徹底的に追及する。

❶対米関係＝米の苛酷な軍備拡大、原爆基地化要求、安保条約の強化、憲法改正による軍事化、米属化の方向に反対し小笠原、沖縄の完全復帰を要求する。

❷対ソ関係＝日ソ交渉の早期解決により平和条約を締結することに努力する。抑留邦人の引揚げは条約前の問題として解決する。歯舞、色丹、千島、南樺太の復帰を要求するが、困難な地域については軍事基地化反対小笠原、沖縄復帰問題と関連して最終決定する。

❸対中共関係＝決済協定、通商代表所設置交換など日本・中共貿易協定の実現を促進し、個々の制限解除の運動を起し、日本・中共国交回復の決議を行う。

❹対比関係＝八億ドル賠償案の負担過重、支払方式の不合理に反対しビルマ、インドネシアその他の賠償と総合的に措置する。

❺対韓、対北鮮関係＝漁船、捕獲漁民虐待につき、政府の責任ある解決を求める。

駐華大使に堀内氏

重光外相はかねて病気を理由に辞意を表明していた駐華大使芳沢謙吉氏に対し、この程その帰国を認めると共に後任に元駐米大使堀内謙介氏を起用することを内定、二十八日鳩山首相の決裁をえた。

堀内氏略歴 明治四十四年外務省に入り欧米二課長、青島総領事昭和四年中国大使館参事官、その後ニューヨーク総領事、アメリカ局長など歴任、昭和十一年外務次官、同十三年駐米大使、六十九才

堀内謙介氏

欧州かけある記 ⑬ 近藤天
カイロ
砂漠の近代都市
旅人喜ばすピラミッド

ヨーロッパの目まぐるしい旅を終えてアフリカ最大の都会エジプトの首都カイロを訪ねる。いうまでもなく五千年の歴史を持つ人類文明発祥の地である。

世界第二の大河ナイルの河口デルタにまたがる人口二百万のこの都市は、中東アラブ諸国の交通、商業、政治の中心で、活気に満ちている。エジプトはついこの間まで英国の膝下に屈し……

完全独立をかちとり、いまやインドとならんで西欧諸国に対するアジアアフリカ諸国の一方の盟主となったというより、アラブ連盟の首領としてモロッコ、アルジェリアなどの独立運動を指導して植民諸国をガタガタさせている点では、西欧諸国にとってナセル首相の方がネール首相よりは厄介な存在であろう。

カイロは砂漠とラクダを連想させる牧歌的な街ではない。二、三十階の摩天楼が立ち並び、モダンなア……

……る。

西欧をあわてさせているエジプトの軍事、政治上の動きはともかくとして、旅人の目をよろこばせるものはやはり随所に点在する古代エジプト文化の華であろう。その代表ともいうべきギゼイのピラミッドを見に行く。カイロから三十分ドライヴすると三つの大ピラミッドが砂漠にそびえている。一番大きいケオプ王の墳墓は、一つ二トン半もある石灰岩を三百三十万個積上げたもので、十万……

……石を積上げるだけのこんな無意味なものは作る理由があるまい。遠くから見ると三角だが近寄って見るとデコボコで感じが全然違う。人面で獅子の体をした巨像スフィンクスは第二のピラミッドのそばにある。ラクダにまたがって砂漠地帯を歩き回るのはなかなか面白いが、途中チップを強要されたり、まがいの土産品を売付けられたりするのに閉口する。

旧市内には裸足の子供が泥まみれで遊び回っているし、赤いトルコ帽や白いターバンの風俗が珍らしい。ナイル河畔は高級な建物と散策地であり、アラビアの情緒豊かな歌ごえはクレオパトラを連想するに十分である。（筆者は本社監査役）＝完＝

……あり、日本商品が異彩を放ってい……近代技術でもこの建造物はできないと自慢していた。もっとも現代では……

写真はカイロ郊外のスフィンクスと筆者

粋人酔筆
かげの問題

戦後間もない話だが、九州のある都市で警察、消防両署主催の特別公演に出演した時のことだった。終演後の慰労宴に私が遅れて行くと、口ヒゲのある三十幾才位の紳士が、盃を私に差しながらもの静かに話しかけた。

『私は現在警察医だが、軍医で召集を受けてから、長い間ドイツで暮していた。歌舞伎というものは生れてから一度も見たことがなかったので、今夜の芝居は私にとって驚異に近いほどの感銘を受けた。日本に女形があるということも、実は初めて知ったので、初めのうちは女優だとばかり思い込んで見物していた。ところが余り私が美人だというので、周囲の者からあれは男だと説明してくれたが、それでも私は女優だといって譲らなかった。しかしだんだん細に観察してゆくと、なるほど女性にしては線が立派過ぎて、どうやら男の化けた女らしいということに気がつき初めたので、念のため望遠鏡で手をながめて、はじめて男が女に扮していることが判ったが、その次に疑問を持ったのは、一体どんな種類の男性だろうということだった』

口調は、いんぎんを極めたものだった。よくある女形礼賛で、特に耳新らしいことではなかったが、大体こういうことをいったのだった。

『それであなたの来るのを興味を持って待っていた。あなたが座敷へ入ってくる足取りから観察していたのだが、背広を着たあなたは、確に立派な男性に違いない』私はオヤオヤと内心思った。

『ついては私はドイツにいた時にこんな経験を持っている』と改めて座り直して、

『何しろ戦時中は想像以上にすべてがきびしかった。徹底したナチスの政治下では犯罪者はどしどし逮捕され牢獄にぶち込まれる。社会のためにならないような男は後難を考えて容赦なく睾丸を抜いた。つまり種を絶やすために手術したのです』と力を込めていった。

『あなたも手伝ったのですか』

『いや僕は外国人ですから関係はないですが……』といささか照れた様子で、酒の回った顔を一層ほてらしたが、直ぐ真面目になって

『あなたへの僕の話の要点はこれなのです。手術を受けた男は、まるで性格が一変してしまう。手に負えない獰猛な奴が急におとなしくなってむしろ滑稽なくらい女性化する、という状態を幾人か見て来たのです。そこで実は先刻の芝居を見ている時に、あの女っ振りを眺めながら、私はドイツでの印象を思い出したのですが……、失敬ですが、まさかあなたが手術されているとも思えんのですが……』

話はこれだけのことだが、率直な研究的の質問は嬉しかったので、私はこの警察医の先生に好感が持てたのだった。芝居を、役者の芸と見ないで実際に結びつけて見る観客は、初心者の中にはないとはいえない。この警察医の先生も、あるいはその一人かも知れないが、ただ先生の質問の陰には、男性が女性的行動を隠れてとるのかを職務上幾人か手がけている経験から、あるいは私への質問の裏に、芸の奥に潜在する何かを探究する意思が働いていたのではなかっただろうか。と私は後で気がついた。

翌朝、私は一行と共に出発するので、昨夜の顔馴染の官服の人々に見送られて駅へ来たが、荒れたままの構内の売店にぶら下っている雑誌の表紙に、見たことのある女の大きな顔に気がついた。それは私の先輩の舞台写真だった。しかしその雑誌が、いわずと知れたカストリ雑誌であることから、何のために女形の大写しの顔を表紙にしているかは、内容を読まずとも大抵想像できることだ。歌舞伎の歴史が、女形の在り方を誤解したまま現代にまで及ぼす影響の恐ろしさを覚えたのだった。

中村[illegible]

IKEDA

ジグザグコース
総裁の討死歓迎

国鉄は来年の四月から運賃を二割から三割方値上げする計画だったが、二十日の行政管理庁の監察結果をみると、国鉄の経営は実質的に黒字で、値上げの必要はないということだそうだ。

国鉄には国鉄のいい分があるらしいが、毎朝毎晩スシ詰めの電車や汽車につめこまれている国鉄利用者の感情としては、値上げなんて何をぬかすというのが偽わらぬところだろう。ムズカシイ数字は別としてこの発表で一番気持のいいのは、国鉄が外郭団体に対し利権的取扱いをしている事実が多いのを衝いたことである。旧鉄道局単位にいくつも作られている工業会社（東京鉄道工業とか、名鉄工業とかいうあれである）が鉄道工事をやる場合は普通の工事会社より一も二一三割高い工賃で請負う。一般の工事会社がやろうと思っても正式入札もやらぬからどうにもしようがないわけである。この種の会社には国鉄の古手職員が吸収されていて部外者の介入を許さぬという仕組である。これが悪名高い『国鉄一家』の典型だが、これでは国民は国鉄職員の古手に甘い汁を吸わせるために窮屈な車に乗っているということになる。

こういうムダは工業会社だけではない。国鉄を取巻く会社や団体は単位百を以て数えるほどもあり、最高二割均一三・七割の中間サヤ取りがいるという。戦後派的常識からも外郭団体にこのような不当な利益を与えている国鉄の当局者は、その利益をリベートしてもらっているかとも想像される。

十河国鉄総裁が二十七日……を整理するといった。当り前である。当り前でないのに監察発表がなければ、ホオ冠りで運賃値上げへ邁進したであろう総裁の反国民的精神である。就任に当って『レール枕に討死の覚悟』をみせた総裁は、一日も早く討死した方がいい。（良）

【写真は十河国鉄総裁】

合同止むなき

衆議院民主党に〝赤坂宿舎組〟の一団あり、保守合同問題では積極、消極両論者に分れ、皮肉をいったり、白い眼で見合っていた。合同促進派は赤城宗徳、大倉三郎、楢美省吾、五十嵐吉蔵、斎藤憲三、高橋禎一、鈴木周次郎、荻野豊平、上林山栄吉といった人々である。慎重派は高岡大輔、大森玉木、中山栄一、大高康、大石武一、中村三之丞、山本勝市氏らである。

先祖以来政、民両の対立、親分筋の関係、選挙区の不利などナカナカ踏み切れなかったが、合同派の熱心な説得や世の大勢に抗する不利など、秋の草木が風になびく如く、次第に〝合同止むなき〟情勢に立至った。

大森氏は〝かくなる上は早くやれ〟高岡氏は〝新しきものをよくでかそう〟山本氏は〝おかしなことをやると承知せん〟と珍奇な理屈を次々ならべ、ネバりにネバっているが、一人や二人ではどうしようもない。

高岡氏は〝一致して推進力となろう〟と執行部への〝要望書〟さえ読まされた。時勢の移り変りの一断面か。

〝赤坂宿舎組〟

地獄耳

市況
小高い

大証券の買控えで人気は引立たないが連日ジリ安のあとだけに整理は全く一巡の振合いとなり、部分的には押目買も台頭して全般は見送り閑散のうちにも概して小高い商状であった。特定株はほとんど見送られて薄商内ながら平和不、地所、三越のみはマバラ買散見されて二一四円高ひきしまった。雑株は売物が細まるとともに化学電機、小型車両、諸工業株の一部に緩慢な押目買がみられて五円内外反発するもの多く特に東洋工、大丸、吉富薬など不動株薄ものが十三一十七円方上進したのが目立ち白木屋はじめ二、三のジリ安をのぞいては概して堅調な場面であった。

▽高い株＝東洋工十七円、吉富薬十四円、大丸十三円、フェルト九円、八欧電六円、市川毛、日特陶、横河電、ダイハツ五円、日鉄鉱、揖川板ガラス、中山鋼、地所四円

▽安い株＝神綿紙五円、白木屋四円

東京株式仲値
□新株落△配当落（28日前場終値）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		信越化	93	倉レ	125	小西六	107
東海上	259	東高圧	149	旭化成	389	カボン	40
[illegible]船	61	昭電工	120	山陽パ	141	三井物	140
新三菱	76	日本曹	104	日本パ	115	第一物	133
日清紡	265	旭電化	93	国策パ	139	白木屋	255
味の素	297	三菱造	95	東北パ	120	高島屋	102
三越	300	三井造	127	大東紡	100	日活	73
三菱地	502	三菱重	65	商船	47	松竹	217
平和不	221	石川重	92	三井船	50	東宝	—
三井金	118	[illegible]工	142	飯野海	60	大映	167
三菱金	114	東洋ベ	124	西武	370	日本粉	132
日鉱	107	日立造	58	藤田興	213	日清粉	128
住友金	114	浦賀	63	東京ガ	81	日本ビ	182
三菱鉱	55	日平	17	東電	610	朝日ビ	193
古河鉱	88	古河電	71	日銀	—	キリン	213
同和鉱	139	日立製	81	東銀	56	宝酒造	129
住友鉱	64	東芝	68	三井銀	—	台糖	288
三井山	66	三菱電	86	富士銀	88	明糖	135
北海炭	67	小松	62	日証金	72	甜菜糖	126
東邦亜	76	日本光	146	安田火	104	野田	210
帝石	73	キヤノ	166	大正海	90	森永	184
日石	111	東京光	40	住友海	83	明菓	185
昭和石	135	東洋紡	167	千代田	75	日水産	97
東燃	136	鐘紡	133	鋼管	87	昭和産	116
三菱石	145	富士紡	122	日製鋼	75	東洋醸	92
大協石	144	大日紡	86	八幡鉄	63	合同酒	147
日東化	98	日東紡	63	富士鉄	57	三楽	128
日産化	83	片倉	33	神戸鋼	55	大阪糖	181
三菱化	121	東邦レ	117	日特鋼	112	王子紙	255
三井化	133	帝麻	36	日軽金	179	十条紙	285
協和醗	131	中織	46	日金工	72	本州紙	97
東合成	142	帝人	153	日セメ	167	三菱紙	93
三共薬	173	東洋レ	200	磐城セ	290	北越紙	67
		三菱レ	130	小野田	93	三井不	800
				横浜ゴ	155	三井倉	92
				旭硝子	173	渋沢倉	88
				富士写	158	東洋埠	210

内外抄

『清新にして強力な』新党をつくるというのに、使う手は古い型ばかり。型は正しく保守。

◇

準備会は出たとこ勝負、合同は何とかなると三木会長。心強いような、頼りないような話。

◇

防衛庁予算しめて千三十三億、三万人の増強。自衛隊という名でよくもこんなに食うもの。

◇

国鉄を食う虫の退治に乗り出した十河総裁、これが出来るなら赤字退治も出来そう。

◇

『売春職業安定所』と称する人身売買団があがる。売春禁止で騒ぐほどこの商売繁昌は皮肉。

ないがい川柳 吉田机司選

角隠し細な娘になって座し　足立・矢吹日進

幕間の見合い役者と比べられ　品川 蝸牛

アルゼンチンタンゴ淋しい大統領　神奈川 北村やなぎ

受取りは忘れず社用飲みつぶれ　北 白井権六

ポスターに紅葉散らして客奪い　千代田 南渡波

マンボなど知らぬを仲人強くいい　大田 鈴木一正

【賞】豊作地オールド・ミスも売切れる　野田 川鍋一酔

青春無宿 (171)
大林清　下高原健二画

黒い死（六）

東京の中心からほんの一とまたぎだというのに、深川埋立地へはいると、あたりの風景は一変する。空地と工場のほかには、住宅も店舗も見あたらない殺風景な眺めが展開するのだ。

殊に今は夜が明けはなれたばかりだった。一面の蒼ずんだ光の中に、工場街はまだ眠りの中にあった。

自動車は次第に埋立地のはずれへ近づいているらしく、窓から吹き[illegible]る風に海がにおいはじめた。

『こんなところに飛行場があるとは知らなかったわ』

兆子が酔いざめの白けた顔でつぶやいたが、大反野も次郎もだまっていた。

やがて海の見えるところまで来て、自動車はとまった。その先に平坦な埋立地があり、急ごしらえの細い橋がこっちの埋立地との間をつないでいた。

『ある、まだある』

転げるように自動車を降り立った大反野が、次第に白っぽく変ってきている光をすかして口走った。

そこから見たところ、一面の草原になっているらしい埋立地には、一軒の平屋建のバラックがあり、そのむこうに思いおもいの方角をむいて、翼を休めている小型飛行機が見えた。

大反野はもう次郎や兆子の存在さえ忘れたように、足もとに黒ずんだ水のただよう仮橋を渡りはじめた。

『行ってみましょう』

夜明けの冷気が襟もとに沁みるらしく、兆子は首をすくめながら次郎をかえりみた。

美男の色事師行状

憧がれ娘を手ごめ
金をまきあげ競輪、競馬

女をだます顔
久志本利喜男

『おいイイ女』『まあいやだイイ男』こんな言葉のやり取りがいまはやっている。これは本当にイイ男が映画俳優だといって女をだましたり、他人の家の権利金詐欺を働き二十五日成城署に逮捕された事件である。男の名は久志本利喜男(二五)＝渋谷区代々木幡ケ谷本町一の八＝ところでこのイイ男逮捕に陰の力があった被害者の一女性が『私、実をいうとあの人憎めないの……』といってせっせと差し入れに通う熱愛ぶり。『女心はわかりませんなー』と係の刑事さんも首をひねっている。

周旋屋もだます凄腕
借間をまた貸し　女と四国へドロン

○…南富士夫、松田秀俊、これがイイ男久志本の芸名? であり偽名である—そんな俳優きいたことがないというと『僕は税金のがれに本当の芸名はかくしているんだ』といってつぎつぎに女を騙していた。

事件その一　五月中旬久志本が成城駅前家屋周旋屋の前でブラブラしていると、通りかかった世田谷区北沢四の四五〇横田秀次さんが『家を探しているなら僕の…』ともちかけた。すると久志本は渡りに船とばかり『私は南富士夫という映画俳優です。ファンがうるさいのでこの辺に隠れ家がほしくて…』といい、映画好きの横田さんをスッカリ信用させてしまった。そして世田谷区廻沢一一七の洋風建一軒家を無条件、月五千円の家賃で借りることに成功—このシャれた家に納まった久志本はここを舞台に女を騙す一方、権利金詐欺を思いたち渋谷の家屋周旋屋に『貸家』としてあっ旋方を依頼。ひっかかったのが横浜市鶴見区上町共同印刷専務員の大田義彦さん(三〇)で権利金三万円、敷金二万円、家賃五千円を詐取、太田さんはあとで横田さんが家主とわかり引越しもできず、結婚しようと思って借りた家が…と泣いて訴え出た。ところが久志本は『撮影所の都合で一ヵ月ほど京都へ…』と愛人杉並区久我山小林秋子さん(二一)＝仮名＝と新婚旅行気分よろしく四国へドロンした。

女優なりたさ一心
入れ上げた女子大出

事件その二　小林秋子さんと新婚? の旅に出た久志本も一ヵ月で金がなくなり八月初旬単身で成城に舞い戻り、第二の恋人世田谷区奥沢の本田弥生子さんに『映画女優にしてあげる。そのことで松竹の重役と懇談するから一万五千円必要だ』と持ちかけて、八千五百円をまき上げた。

さて二人の馴れ染めだが雨の日祖師ケ谷駅で本田さんが久志本の傘に入ったことから始まる。本田さんはかねがね家の前を通る美男の久志本を好ましいと思っていた矢先なので急ピッチに熱をあげた彼女はこの春相模女子大を出たばかり、山形県の両親から送ってくる生活費は、ほとんど彼に入れあげていた。その男にいろんな女出入があるのを知って嫉妬の焔をもやし、九月初旬成城署に『私は騙された』と訴え出て、十月二十五日『四谷の駅で会いたい』と久志本から連絡があったので本田さんはこの旨を警察へ知らせた。成城署員が逮捕に向うと彼女は久志本の美顔を見るなり、心変りして刑事をまいて久志本と二人でタクシーで逃げてしまった。出し抜かれた刑事は、逃がしてなるものかとこれまたタクシーで追跡、遂に千代田区九段坂上の喫茶店に入ったところを逮捕したもの。

女心はわからない
差入れに通う本田さん

久志本は渋谷区内新聞支局長の次男坊で、千代田区開成高校を卒業したが、慶大医学部卒とウソをいい、また"いい男"の上に薄化粧でみがきをかけ数多くの女を騙し金をまき上げては競輪、競馬、かけマージャンに使っていた。ある駐留軍勤めの女は月給のほとんどを彼に入れあげている。

小林さんも本田さんも金持ちの一人娘、金のありそうな女を狙うのも彼らしい手口だった。四国へ行った小林さんの消息はまだわからず、一人娘に家出された父親は目の色を変えていま探している一方、本田さんはその後毎日のように差し入れに通っており、本当に『女心はわからない…』と、係官は差入れられたうで卵やりんごを眺めうらやましそうでもあった。

百花競う"ミス・世界"

げに近ごろは"ミス"のハンラン時代である。これが世界中で行われる"ミス何々コンテスト"を入れると、年に何千、何万のミスが誕生する勘定と相成る。婦人のミサオがコウ毛の軽きに比べられる風潮がマンエンしているとき、これは確かに貴重な催し物というべきだろう。

それはさておき世界におけるピンの部に属する恒例の"ミス世界コンテスト"がこのほどニギニギしくロンドンで開かれ、ミス・ヴェネズエラが栄冠をかち取った。写真(上)は大会に臨み"アタシこそ"と誇らかに自信のほどを御披露に及んだ世界の美形連(下)は祝福のキッス受ける『ミス・ヴェネズエラ』【キーストン特約】

モダン歳人記
西洋一代男

一七八七年十月二十九日、プラーグ市でモーツァルトの歌劇『ドン・ジョヴァンニ』が初演された。この歌劇はモーツァルトの傑作の一つで、スペインの伝説により、ある坊さんが書いた戯曲からとったもので、脚本はイタリア人のダ・ポンテがイタリア語で書いた。

伝説的な人物ドン・ジョヴァンニ、すなわちドン・ファンは十五六世紀の人物で、ウリオワの騎士長を殺害した上にその娘と駈け落ちしたり、女を追いかけてセヴィラのサン・フランシスコ僧院に行き、騎士長の大理石の墓のそばで殺され、地獄に連れて行かれたといわれている。

歌劇では騎士長の娘ドンナ・アンナ、百姓の花嫁ツェルリイナ、捨てた恋人ドンナ・エルヴィラ等を相手にその好色ぶりを見せるのだが、女から女へ、まるで子供が無雑作に玩具を漁るように飛び歩く。[illegible]、女蕩しの代名詞としてドン・ファンの名を用いるのも無理がないくらいである。モーツァルトを崇拝したベートーヴェンさえも、このオペラだけは不道徳だといってきらったそうだ。わが国でいえばさしあたり一代男の世之介といったところだろう。（鮭）

珍習奇習　—アフリカ—
フシギな薬

ほとんど裸で、それにハダシで密林や原野の生活をいとなむアフリカ土人は、全部が全部生来がん健に出来ているわけではない。彼等だって大いに病気もするし苦しみもする。ただ不幸にして彼等は、文明の医薬にめぐまれぬというだけのことだ。

しかし彼らには彼らなりの治療の方法がある。あるいはその方法は、われわれにとって珍奇に感じられるかもしれぬが、彼らにとっては切実なものである。さて六百種にのぼる彼らの奇薬珍薬と、千差万別の医療法、健康法、幸運法をここに全部網羅するわけにもいかぬので、ごく面白いものだけをご紹介しよう。ちなみに施療施術は、特別の呪者兼医者みたいな男によって行われる。

薬の多くはライオンの油、河馬の油、象の心臓、山アラシの油などから作られる。おまじないの道具は、サメの背骨からハイエナのしっぽの毛に至るまで、文字どおりピンからキリまである。そしてたとえばライオンの油は、特にリウマチスの妙薬であり、河馬の油は魔術的効力を発揮する。またライオンの油は、娘たちの顔に塗られてこよなき化粧となる。さらにトカゲやウワバミや象の油をこねまぜて作った『幸運剤』は、賭博必勝のマジナイ薬である。むろん『ワニの涙』と称する一種の媚薬を忘れてはなるまい。

このように彼等は彼等独特の奇薬珍薬の霊験を信じ、象の心臓の如く千万金に価する高貴薬もあるが、おしなべて幸福を維持しえているのである。もっとも最近、文明諸国からこれらの奇薬珍薬に対する注文が殺到し、げんにあるイギリス婦人は蛇の油を額に貼りつけることによって夫の宿酔を治したと報告している。まんざらバカにはできない。（作）

続・風流交番日記 ⑧
中村獏

アベック異夢

私の受持区域の中に、夜間立入禁止の公園がある。無論パトロールまで立入禁止ではないので、私は夜の勤めには欠かさずその公園の木立の中をパトロールして、怪しいやつはいないか、首くくりはないかなどと注意して回るが、大抵一組や二組のアベックが禁を犯して公園内に立入り、ささやき交したり、抱き合ったりしている。そんな時私はヤキモチをやくのではなく法の権威において、外で恋をささやくように勧告する。

『君達はこの公園の夜間立入禁止を知らないのかね?』

『知りませんわ、一向に……』

『直ぐに出なさい』

『いけませんか?』

『いけませんね!』

余りいい仕事とも思えないが、罰も当らずに私は、しばしばこういうことも経験したが、ダダをこねるのはきまって女性側である。

『いいでしょうこの位のこと、別に誰も迷惑なんかしませんわ』

『わからないね君は…』

『ええそうよ、どうせわかりませんわ!』

女性は直ぐ感情に走りたがる。それを男性側でとめて、まあ穏やかに解決をみるのが例だ。

ある夜、堅く堅く抱き合って芝生に横になっている一組を見つけた。不心得な上にも不心得なことには、公園自体が立入禁止であるのに、芝生にはちゃんと『芝生に入らないで下さい』と特に制止の札が立ててあるのだ。それを、この一組は全然無視して、深い溜息など洩らしている。

『もしもし、困りますね、こんなところへ入っては!』

『は、はあ!』

私が近づくのに気がつかなかったらしく、びっくりして起き上ったのを見ると、何とそれは同僚の山田君と、煙草屋の娘カオリちゃんだった。

『なんだ君達か…』

私は拍子抜けして、次にどういったものかと思案してしまった。

勤務中ではないから恋愛については苦情はないが、立入禁止を破るのはよくない。私はそっと山田君だけを呼んだ。山田君は私の後輩だから態度はすなおだ。

『君、警察官自身が規則を破っては駄目じゃないか』

『はい、すみません』

こうおとなしく謝られてみると、ことはたかが公園へ入ったの出たのということだ。いわば児戯に類する、東京都の治安がためにおびやかされもすまい。ましてや同僚の楽しき恋路だ……。

『まあいいや、今夜だけは見ないことにしておこう。目立たないところでひそかにやってくれ』

と、いわざるを得ない私だった。山田君は大いに感謝し、煙草屋のカオリちゃんもニッコリ会釈して、つつましやかに謝意を表したのであった。

『じゃあ、さようなら』

『すみません』

私はいい気持で歩みかけた。実にそのときである。後ろの草むらがゴソゴソと鳴って別の一組が起き上るとこういった。

『お巡りさん、こちらへも許可を下さい』　（え・田力）

あすの運勢
高島易断　家山
＝十月二十九日＝

▲一月生—何事も秩序正しく歩調を正し内外融和を計り向上有なり
▲二月生—苦労と困難は去りて日改まるの義で次第と向上発展あり
▲三月生—物事気運の旺盛なりし為め慢心に失し怠慢に陥り失望有
▲四月生—物事心静かに努力すれば自然と向上気運起り栄達有り
▲五月生—交際取引円満に利益多し然れ共他人の世話事にひかえよ
▲六月生—性急短慮にして失敗を生じ事を乱し往来不利に陥るなり
▲七月生—目的職業を一貫して至誠を以て努力すれば順調に至る也
▲八月生—何事も平穏の内に向上あり外に利あり内に喜びあるなり
▲九月生—上下の区別なく融通して意外の失態を演ずることある也
▲十月生—無理はさけ自然の成り行きに任せ内外安定し幸福有あり
▲十一月生—物事に一喜ありて一憂来る慎重にして細心の注意肝要
▲十二月生—進退の自由を失し物事に困難辛苦起るなり異動変化凶

風流世界譚
…（南ヴェトナム）…

サイゴンに近いショロンで商売を営むホ・ミン・サンの家にワッと喚声があがりました。南ヴェトナムの国家主席をバオダイにするか、ゴ・ディンディエムにするかという国民投票の結果、ゴ首相が大勝利を獲得したというのでかくは大騒ぎとなったのです。何分主人のサン親爺は長いこと避暑先にひっこんだまゝのくせに自分の無能力をタナに上げ店をあずかる番頭のホワンのやり方にとかく文句をつけるばかりか、店員同士が恋をしたとみればバッサリやって一言の弁解も聞き入れません。ちょうどバオダイとゴ首相みたいなもんじゃないかと思っていた矢先、バオダイが追っ払われ、ゴ主席の下に共和制が布かれることがわかると使用人たちも勇気百倍『親爺を倒せ』と気勢をあげたわけです。そこへ顔を出したのは四十前後の豊満な肉体の持主のミン夫人

ハッとだまる店員たちに笑顔を向けながら『ねえ、ホワン、そうなったら私も天下晴れてあんたの夫人になれるんでしょ?』

東海毒婦伝　青とかげ　(112)
野沢純
土端一美画

江戸の八巻（五）

お直は熱い湯ダライで、ゆっくりかかって顔を拭き、一と通り化粧を済ますと、とんび座りの出っ尻を構えながら、改めて鏡の中を覗き込み、下唇にポツンと一つ、桜の花びらほどの紅をおとしておいて着替えにかかった。仕上げというところである。与次郎は、ハタで黙ってそれを見ている。

うす水色のあられ小紋に、鶯格子の昼夜帯を、きりりと締めると、見違えるほど引立って来た。甥の与次郎が、ついうっとりと見惚れるくらいである。叔母でなかったら、手を出したくなるだろう。それ程、仇な姿であった。

仕度が終ると、

『お前もお着替え。いくら何でも、そのまゝのなりで、あたしのお供はおかしいよ。それから、駕籠を一挺たのんでおくれ』

—浅草浦島、報恩寺横丁は坂崎源十郎の門前に、駕籠がおろされたのは、やがて、一ト刻後のことである。

金蒔絵に鋲打ちをした女乗物にしては、みがきのかかった乗物である。

両脇に仲間姿が二人付き従っていた。見ると、ちょろけんの与次郎に、あとの一人は、しぐれの半次だ。

二人とも、梵天手綱染めの衿をつけた、桝目つなぎの半天を着て、もっともらしく控えている。

しもたや町の昼さがり—駕籠は一たん門前にとまったが、やがて再び玄関先の式台まで運びこまれた。

いきなり横付けに、乗りつけた—という格好だ。

そこから降り立ったお直である。

かつお縞の袴をはいた玄関番が、けげんそうな顔をして、

『いずれから参られた?』

訊問口調へ、

『源十郎どのへ、お直が来たとお伝え下さい』

いとも涼しい顔である。

『何用あって参られたか? 御前は今、奥の広間に門弟を集めて、せっかくの御指南中だが』

『ほほほほほ……』

おはぐろを覗かせながら、お直はゆっくり笑って見せた。

『御前はよかったねえ。何の御指南だか知らないが、玄関番は取次ぎゃァそれでいいんだよ』

声音と共に、言葉調子まで、ガラリとばかり変っていた。

『それで解らなければァ、奥方さまのお越しだとおいい!』

『何—奥方さまだと?』

『そうだよ。坂崎に奥方さまは、二人はいない筈だよ。それとも、あたしのほかに、囲いめかけか、手かけ女でもいるというのかえ?』

『慮外な事を申す!』

あまりといえば、人をくった女の出方に、なかば呆っ気にとられながらも、

『言葉をつゝしめ! 無礼であろう!』

『ほほッ! 無礼ばよかったね。何でもいいから、源十を此処へ呼んでみたらどうだえ』

あくまで不敵なお直である。

玄関先の、異様な気配を聞きつけて、そこへ当の坂崎が、何事かといわんばかりな顔つきで出て来た。

とたんに出合った二つの目と目—源十郎は思わず息をのんだように、じっと見つめた。

新刊紹介

◇なでぎり随筆（菅原通済）『私は色気狂と酷評されたことがある』と著者が書いているように、内容は女の話に充ち満ちている。しよっ鼻の『女、女、女』のみだし通りで、登場人物が赤坂、新橋、柳橋辺の一流どころ。それがみんな本名で出てくるし、お客までが本名か、それと知れるご仁ばかりだから、政財界の艶面史といっていいだろう。まさにタイトル通り『なでぎり』である。しかしいや味がなく、ユーモアに溢れていて、気楽な読物として秋の夜長には好適である。（新書版二二六頁・一四〇円・高風館）

がんばる 百田兄弟 幼ない夢はタッグ・レス

父親譲りの怪童ぶり 小粒でも辛い二代目力道

来る三日からキング・コングら四レスラーとプロレス東洋選手権を賭けて闘う力道山はいまトレーニングに余念がないが『今度の試合には是非勝って…』とか『僕をレスラーとして鍛えて下さい』などという豆ファンからのレターが日に数十通、だが『僕が何といっても一番のファンだよ』という少年。その名は百田義浩(九つ)＝桜田小学校四年生、光雄君(七つ)＝同校一年生＝の兄弟。いわずと知れた力道山の愛児だが、義浩君は年に似合わぬ並外れた身体で、早くも"第二の力道"などとうわさされ『ボクたちは大きくなったらシャープ兄弟のように世界的なプロレス選手になりたい』と幼な心にも固い決意をみせてがん張っている。

力道山一家、左から文子夫人、光雄君、義浩君

○…この話題の義浩君は力道山が平幕時代に生まれた長男、出産時既に一貫三百匁、その後ぐんぐんと肥り、今では十二貫九百、身長はあと一寸で五尺というから父親の幼いころを思わせる怪童ぶりだ。

『義ちゃんは生れた時から人並はずれて大きな子で満二才の時平仮名を全部読んだ子です。今では背丈、体重とも私より大きくなってこの調子だと大内山、大起さんのようになってしまう。体がアンコ型なので本人も望むプロレスなどで体をしまらしたらとお父さんと相談しています。力道というコーチもついているので、出来れば八才の時から鍛えたプロレスチャンピオン、ルウ・ティーズのように教育していきたい』と母文子さんの期待も大きいようだ。

○…当の義浩君も『僕はプロレス、野球、相撲が大好きだが、なってみたいのはプロレスラー、天文学者、パイロットの順、お父さんは厳格でこわいけど一番好き、がん張ってお父さんの跡をつぎたいナ…』と目をかがやかしていう。横から弟の光雄君は『僕は七つだけどこれで八貫あるんだよ、僕のリングネームは"三月三日"兄ちゃんは"五月五日"っていうんだ。大きくなったら力道山兄弟でどうしてもタッグチームで出たいなあ』と力道山に瓜二つの兄弟、父の優勝トロフィー、カップなどを撫でながら幼な心にも未来の力道を夢にえがき、ハチ切れそうな大きな身体をブルンブルンと豪快にゆすぶってみせる。

○…腕力では文子さんも義浩君には歯がたたず、多忙な父の帰宅が夜遅くなり、誰もいなくても、僅か九才の義浩君がおれば心強いと文子さんは頼もしげである。きょうも『兄ちゃんヘッドロック一つやってよ』と光ちゃんの注文。『お父さんにサインを貰ってくれってすぐ頼まれちゃう。お父さんが駄目なら君でいいって、早く本物のレスラーになりたいなあ…』といいながらお父さん愛用の亜鈴をイチッ、ニッと元気一ぱい振り出した。

人妻、70爺と心中

警備員の夫の留守に青酸あおる

二十七日夜十時ごろ江戸川区小岩五の八二九、南小岩小学校警備員小林守吉さん(五一)方八畳間で小林さんの妻政子さん(四七)と、墨田区寺島八の七一、左官黒川嘉之助さん(七〇)の二人がフトンの中で青酸カリ心中しているのを帰宅した長男明さんが発見、小岩署に届出た。同署で調べているが、付近の人の話では黒川さんは、政子さんが四年前墨田区内の喫茶店に働いていたころからの馴染で、以来三年間、たびたび守吉さんの留守を狙っては黒川さんが政子さんを訪れていたもので、このためいざこざが絶えなかったというので、邪恋清算の無理心中らしい。

なお政子さんは昨年十一月、娘のA子さんの結婚披露のとき、夫の守吉さんの前で近所の人たちに『これから黒川さんに娘の父親がわりになってもらう』などといったといわれ、毎月三千円を黒川さんが政子さんに貢いでいたというウワサもある。

これは高校生と女工

【甲府発】二十八日午前九時五十分ごろ甲府市橘町一の一銀味寮(吉田八重さん)方に前夜泊った男女が青酸カリ心中をはかり男は死亡、女は薬を吐きだして助かった。甲府署の調べでは東京都世田谷区北沢町四の五三藤菌製造工場工員佐久間美代子さん(一七)と、同番地三田高校三年相沢勇君(一九)と判明したが原因その他不明。

娘二人を絞殺

負債を苦に　社長一家六人心中　父母、長女は服毒重体

【神戸発】二十七日午後二時四十五分ごろ神戸市葺合区二宮町一の二〇会社員砂原和夫さん(三七)が、葺合町丸山(布引山)六英堂に通ずる登山道付近雑木林の中で心中を企て苦しんでいる親子らしい六人連れ(うち三名はすでに死亡)を発見、葺合署に届出た。現場にあった風呂敷包などの遺留品から二十六日、九百数十万円の負債を苦に家出した岡山市上之町繊維卸会社日光社代表取締役難波健氏(五三)一家と判明、次女和子さん(一五)三女節子さん(一三)四女良子さん(九つ)の三人は催眠薬を飲み細ひようのもので絞殺されていた。健氏は両手首、ノドなどをカミソリようのもので切りひん死の重傷、妻万喜子さん(四七)と長女秀子さん(一九)は睡眠薬を飲み、カミソリようのもので左手首を切りいずれも一ヵ月の重傷である。

難波さん一家は、二十六日夜は現場近くの布引山荘で一泊、二十七日朝六時ごろ死場所を求めて外出、一たん帰ったのち十時ごろ荷物をまとめ宿泊料九千円の支払いをすませて出かけたものので、懐中には二千円余しかもっていなかった。なお葺合署では助かった健氏、万喜子さんの回復をまち殺人容疑で取調べる。

総同盟定期大会開く

総同盟(二十四万人)の第十回定期大会は二十八日午前十時半から渋谷公会堂で代議員三百名を集めて開かれ、鈴木委員長をはじめ全労会議、新産別など各友誼団体から祝辞があって午前の部を終り、午後からは大手十社の綿紡部会のストを全面的に支援する決議を行った。

同大会に来賓として出席、あいさつする社会党鈴木委員長

40万円で若様旅行

盗んで上京 チンピラ二人組補導

二十七日午後十一時ごろ台東区浅草観音裏で挙動不審の少年二人を警ら中の浅草署員が職質したところ現金三十三万円を持っていたので同署に連行保護した。同署の調べによるとこの少年は広島市内の元肉屋店員A(一七)とB(一九)で、Bが東京へ行くといったところAが『おれも連れていってくれ』と頼んだが、Bに『金がなければ駄目だ』と断わられ東京に行けぬとは残念と叔父の広島駅前ステーションシネマ通りの洋服店＝佐古政雄さん＝方に遊びに行き戸棚の上の現金四十万円を盗み出し二十五日昼ごろBと呉市で落ち合い洋服、靴、腕時計などを三万円で新調、同夜呉市を出発憧れの東京へ"若さま旅行"としゃれこみ、二十六日夜上京、同日夜は雷門付近の旅館に泊り二十七日は浅草で映画見物のあと二万円の買物をして観音裏をうろついていたところを補導されたもので知らせを受けた叔父佐古さんは引取りに上京している。

中央線に飛込み男

二十八日午前四時三十四分ごろ中央線西荻窪―吉祥寺間を進行中の長野発新宿行準急『アルプス号』＝小林章二機関士＝に四十才ぐらいの男が飛び込み頭部を打って即死。武蔵野署で身許を調べている。

びょうぶとロジャース夫人

保谷町の女斬り犯人 18少年を逮捕

二十六日夜十時ごろ北多摩郡保谷町北保谷二七〇先で同町一三二一会社事務員阿部久子さん(三九)が後から何者かに出刃包丁で斬りつけられ全治十日間の傷を負った事件を追及中の田無署では二十七日夜同町下保谷一五三農業少年(一八)を傷害容疑で逮捕した。調べでは通りがかりの阿部さんをみてイタズラしようとしたが抵抗されたので斬りつけたもの。

はねられて二名死亡 一名瀕死

二十八日午前零時十五分ごろ江東区深川豊洲二の五先路上を歩いていた同区深川枝川町一の九工員杉本栄一さん(二七)同神尾恒武さん(四〇)同金永徳一さん(三二)の三人は後からきた同区深川平久町一の二三市原泰清(三七)の運転するトラックにはねられ付近の病院に収容されたが脳内出血、全身打撲で神尾さんと杉本さんは間もなく死亡、金永さんは生命危篤、深川署の調べでは市原運転手の不注意から。

山谷のドヤで 二人を刺す

二十八日午前二時ごろ、台東区浅草山谷四の三先路上で、同番地簡易旅館『相模屋』＝経営者高梨みつさん＝宿泊無職大井利夫(二八)は、同宿の無職山本和夫さん(三九)同三井次郎さん(三五)の両名に難くせをつけられ、いきなり短刀で三井さんの横腹を刺し全治一ヵ月の重傷を負わせ、さらに山本さんの頭、腕などに二週間の傷を負わせ傷害現行犯で逮捕された。

掘り出した日本の屏風

ポートランド在住のエドワード・A・ロジャース夫人は前から一双の日本びょうぶを所有していたがサンフランシスコの専門家に修繕を依頼したところ、これは時価一万ドルはする日本画＝画家不明＝だといわれびっくり。一千五百ドルの損害保険をかけていたがこれを聞いてあわてている。＝オレゴン州ポートランド発UPサン

迷路ガイド

解答 荘田修一郎

病的なものでない 性器に関する純情二青年の悩み

【問一】二十五才の男子です。祖父母は封建的で私は夜遊びもできず未だに童貞を守っております。お伺いしたいのは興奮をしたときのことです。つまり人並にエレクトするのですが、陰嚢が小さいためか、睾丸か陰茎の部分に密着してくるのです。それでいて痛みは全然ありません。これは異常でしょうか、神経質なためか、怖くてコイツスを行う勇気がありません。このままにしておいてよくなるものでしょうか。(新潟県・M生)

【答】睾丸の機能というものは、冷えているときに萎縮するものです。つまり小さく収縮したときは活動しているわけです。ですから、興奮すれば収縮するのは当然で、しない方がおかしいのです。むろん病的なものではありませんし、コイツスのさいも同じ現象が起ります。何ら心配されることはありません。

【問二】二、三年前から性器の先に発疹ができて、膿をもってるのですが淋疾ではありませんか、異性との関係は一度もありません、また排尿のさいは何ら痛みもありません。(世田谷区玉川・T生)

【答】女性との交渉なしで淋疾にかかることは絶対といってよいほどありません。また淋疾の膿は発疹からできることはありませんし、最初は排尿に痛みを伴います。また二、三年も前からですから梅毒でもありません、もちろん単なる発疹でしょう。その病名を皮膚科で確めたうえ治療すれば簡単です。何も恥しい病いではありません。(回春堂院長)

ミナト・ヨコハマ Yライン ―5― 港内遊覧船

秋は子供の天下 アベックをたじろがす

文 北林透馬　え 森比呂志

吉田橋といえば、伊勢佐木町と馬車道とをむすぶ有名な橋だが、昔はこの橋のたもとに関所があって、今の税関みたいに幕府のお役人が出張し、いちいち出入りの人間の服装検査をして怪しい奴は一歩も入れなかった。

そこで関所の内がわの馬車道方面を関内、関所の外がわ、伊勢佐木町方面を関外(かんがい)と呼んで、その呼び方は今も残っている。むろんそんな関所は今はないが関所のあった関内がわの橋のたもとから、港内遊覧船が出て、その発着所がある。

新橋のたもとにある例の『水上バス』みたいなものだが、もうちょっとスマートに出来ているし、川の水もきれいだから、夏でもメタンガスの悪臭になやむ不快さはない。

夏は、まっぴるま、こんなものに乗る奴は少いから、もっぱら赤いランターンなどつり下げて、アベック、それもアメリカさんとニッポン娘のアベックを大いに歓迎してのロマンティック・サーヴィスにつとめていたが、秋になっては、もう夜は駄目だ。いくら情熱を胸に燃やしても海の風は冷いから、せっかくの熱が皮膚からさめてしまう。近頃はもっぱら昼間のお客が多い。むろんアメリカさんのアベックが、昼間といえども圧倒的だが、これが日曜日ともなると、子供を連れたお父さん、お母さんご家族づれのご見物衆が多い。

『アラ、お母ちゃん見てごらん。アノヒト、アンナコトしてナニシテルノ?』なんてビックリするような大きな声を出したり、真正面からジロジロのぞきこまれて、指さしなんぞされたりしたんじゃ、いかに戦場の勇士と勇敢なるヤマトナデシコといえども多少はテレますよ。というわけで、今はあの赤いランターンも取りはらってしまったし、チューインガムくさかった船がこの頃はすっかりキャラメルくさくなってしまった、というわけだ。

晴れた秋の日曜日、小さなリュックを背負った坊や、小さなバスケットを下げたお嬢ちゃん。お父さんは首からレフレックスをブラ下げ、お母さんは大きなボストン・バッグを二つもかかえて、というようなのが二組、三組と乗り込んでくると、アベック組はどうも押され勝ちになる。何といっても、子供という奴はダイタンフテキであるから。

船は、ここを出ると、桜木町ステーション前の大江橋、弁天橋の下を通り、税関引込み貨物列車の専用鉄橋をくぐって、港内へ出て行くわけだが、敗戦直後、波止場が全部アメリカさんに接収されていたころには、氷川丸(ひかわまる)なんて船がその付近のヴイにアンカーされ、北海道行きのお客さん達は、弁天橋の畔からハシケで船に運ばれたりした。汽車ではとても北海道へは行けなかったからだろうが、この利用者はずいぶん多かった。

昔は、弁天橋のたもとから、隅田川の一銭蒸気と同じ小さな発動機船が出て、神奈川のすさき神社の前まで通っていた。僕等の子供の頃まであったが、この間『旅情』という映画を見て、ヴェニスではあれを単にバスと呼んでいることを知って、何となく、なるほどなあ、と思ったことである。頭のいいのが小さな発動機船をかりあつめてきて、本船までおくり届ける商売を始めた。いわば港内のタクシーみたいなものですな。この連中とパンスケ達とは利害関係が一致するようにも思われるんだが、どこかに食い違いもあるとみえて、時々モメる。

タクシーどうしも、客の取りっこからゴタゴタする。このゴタゴタがだんだん大きくなって、パンスケとタクシー・ボート連との大喧嘩になって一時は血の雨が降る騒ぎになったが、それもこれも昔のこと。

朝鮮事変も遠い昔の話となった今では、そんな屋台もパンスケも全く姿を消し、タクシー・ボートの諸君は仲好く一緒になってフェリー・ボート・サーヴィスという会社を作った。とても昔ほどの景気はないが、小綺麗なボートをならべて健全にやっとる、という次第。

中心馬はグランドトーキー 【中山 三日目】

あすは第十に中距離馬による中距離ハンデキャップレースが行われる。

△中距離ハンデ(第十一千七百米)グランドトーキーの63キロは他馬に比して有利でないが出来は引続いてよいので出走する以上第一候補。もし同馬が他にチャンスを求めればコマカゼが代って有力視されることになる。同馬は前回の七日目勝入ハンデでローヤルダッシュに二着しているが、ここは当時と同じ56キロ。タケハヤの中山戦は不振だが、東京の勝入では59キロのグランドトーキーを破っており、今度は府中で十分に食っているらしいので油断出来ない。その他ホウジョウ、キンコウなども問題だが、穴は初日弱敵相手とはいえ楽勝したトヨタニでないかと思う。ハンデの54キロも不利でない。グランドトーキー、コマカゼ、タケハヤの順、穴トヨタニ。

▽一般レース予想 ①マイウエイ、ケンセイ、キタノオーの順、穴チカラボシ②タメトモ、キミオー、ヒスイの順、穴クインメイヂ③ハルミツ、ヤヒロ、パトリシアの順、穴シンリヒト④カネノボル、インデアンオーの順⑤フジミナト、ヤマモリ、ミスキヨフクの順、穴フアイター⑥ハヤオー、ホマレオー、ロングランの順、穴サクタカ⑦コマツバメ、テツペキの順、穴アルビオン⑧クリノサチ、タジオマオー、ミナトサクラの順、穴ミスコーテル⑨ストロング、ヤマトヒカリ、ヤマフサの順、穴ダークスター(もしここにグランドトーキーが来れば首位)⑩フクサクラ、ナスノツキ、ミノルメイヂの順、穴キヨカツ。(松本)

【後楽園】

十月の後楽園競輪は二十九日から十一月三日の"文化の日"を最終日として行われる。今回は大阪中央競輪場の"全国ダービー"とカチ合うため一流どころが顔をみせない。しかしそれだけ車券的興味をますわけ。

◇前節＝優勝候補は久保田敏、松本英、小沢恭、富岡喜らだがうち久保田にとってはあまり強敵がいないのでまさに優勝へのチャンス。一般戦では蔵島義、松浦徳、花島茂が活躍しよう。穴は藤巻虎で彼の奇襲戦法はなかなかの脅威。B級では田中好、若林利、鈴木文、田中好らが決勝進出十分。

◇後節＝好調子の清水豊を中心として差脚よい田辺長、マーク巧者の伊藤忠、毛利武らが存分に荒れ回るだろう。また逃げ脚よい鳥山敞と鈴子潔に特注。このほか長谷川楠が調子上げているので三日間追ってみたい。B級では阿久津義が取手で優勝した勢いをもって決勝に進もう。(亜雷京一)

あすのスポーツ △プロ野球 ヤンキース対全大阪(西宮) △六大学野球 立対東、明対法(十一時半、神宮) △ラグビー 早OB対中OB、早対中(一時、秩父宮) △アメリカン・フットボール 立対日(二時、神宮) △柔道 警視庁対東学連(零時半、警視庁体育館) △バスケット 教対明、日対立(四時、国体館) △競馬 中山、大井

独眼灯

○…ハネムーンのシーズンに入ったが、これは初夜泥のハナシ。

○…二十八日午前一時ごろ熱海市咲見町国鉄非現業組合保養寮青海荘に新婚旅行で泊った、東京都江東区深川平野町山陽商事会社々員吉田純男さん(三三)同妻美恵子さん(二四)の"虹色の寝室"に賊が侵入、花婿の紺色ダブル上下(一万三千円相当)をユウユウと着込んだ上、賊は自分のよれよれ古ズボンを枕許に代品として置き『新婚旅行をおどかしてまことにすまん、これでカンベンしてくれ』と書置してドロン。(熱海発)

デボコント 晩酌余談

旦那さまの晩酌という奴は、どこの奥さまにとっても、なかなか厄介なしろものです。

ことに日本酒党となりますと、まずおかんをせねばならないし、次に肴です。

『……わたしゃ別に面倒だというんじゃないのよ……』隣のご主人、ウィスキーに転向なさったんですって……。それで奥さま、ずいぶん手数がはぶけて大助かりだってよろこんでいましたわ。あなたもウィスキーになさいよ』

という次第です。

何しろ、家庭における実権者の奥方さまのおっしゃることですから抵抗いたしかねます。

『……その代り上物だよ』

と、しぶしぶ条件つきで承知いたしました。

しかし、やって見れば、洋酒もまた好き義です。肴にしてもチーズとか塩豆、殊にあの乾ブドーでちびりちびりグラスをなめる味は決して捨てたものではありません。

第一、山の神が、手数がはぶけるとニコニコしているのが、又とない肴というわけ。

近ごろでは、会う人ごとに『……君、だんぜん洋酒はいいぜ』

洋酒屋さんから宣伝費をもらったわけでもあるまいに、盛んにすすめておりましたが……。

ある夜、グラスを口にして『どうもうまくない、これ一体なにウィスキーなんだ』

『やはり同じ会社のよ。アルコールの含量もちがわないわ、それに安くてとっても経済よ』

酒を一滴ものまない奥さんにしてみれば、値段が安ければ大助かりですが、のむご本人にとってはとんでもないことです。

『……君の注射してるホルモン剤のデポにしてもそうだ。近ごろ同じようなデポの名前をかたって安いホルモン剤が出てるが、君だってやはりアップジョン社のデポ女性でなくっちゃ…と言ってるじゃないか。

ウィスキーもやはりレッテルは同じでも代用品じゃ駄目だよね。それだから……』

御主人、まったくうまい例えで、奥様を説得したものです。以来もとのウィスキーを楽しんでおります。

続 情炎の千代田城 (282)

岩崎栄 寺本忠雄画

春寒く(三)

翌日。橋場の荻原別邸の真夜中である。

『……というわけだ。天下、御政道の犠牲になってくれい。余が、こうして頭をさげるのじゃ』

大久保加賀守が、重秀と対座している。

『ご、御もったいない。お手を、お手をお上げなされませ。てまえも武士にござります。ことに、多年ひとしおならず御愛顧を蒙りましたそれがし……』

重秀は恐縮して平伏する。

『聞き届けてくれるか、無理なことを』

『人生は意気に感ずと申します』

『かたじけないぞ、重秀…』

深夜ひそかに、大久保加賀守がこの荻原邸に忍びの駕籠を寄せているのだ。

明日正午、いよいよ将軍御前裁[illegible]

[illegible]

ます』

『うむ』

『最後のお盃を頂戴致したく存じます』

『おおそうであった。用人を呼べ』

『は』

といって、重秀は苦笑の顔で、

『用人長井半六は、別室におきまして……』

『ああ、いかにもの』

と頷き、次の間へ、

『これ！ 当家の用人長井半六を、これへ――縄目をといてつれまいれ』

『はっ』

そして、間もなく半六がそこに平伏した。どうしたのか、これは平常とすこしも変らぬ面色、態度、すこしもわるびれず、

『御用にござりますか』

重秀が、

『加賀守様と、水杏じゃ。用意致せ』

[illegible]

『さすがに、あっぱれな家来を養いおるの』

『おそれ入りましてござります』

欺された洋楽ファン

"洋盤"と銘うつ和製レコード罷り通る

何でもアチラばやりのきょうこのごろとあれば、洋楽ファンの増加と洋楽レコードの売行きもなかなか目覚ましいものがある。この機をつかんで各レコード会社が競って原盤を輸入し、その発売に血眼になるのも当然だが、最近日本の楽団演奏であり、しかも日本で録音された純然たる和製レコードが、L盤でござる、洋盤なりとして堂々と発売されているという奇怪な事実が明かとなって話題をまき起している。洋盤化して"妖盤"となる。まさに看板に偽りあるこの事件は一体どういう訳なのであろうか。以下その真相を探ってみた。(永)

架空の楽団名で

物議をかもす『旅情のボレロ』

売り出したコロムビア

問題はキャザリン・ヘップバーン主演の『旅情』に絡まっている。その主題歌『旅情のボレロ』(イチーニ作)をコロムビアが発売したのは本年九月新譜のことである。

凸版はコロムビア十一月新譜リストに記載の一部

SP盤を、つづいて十一月新譜にEP盤をと、いずれも洋盤として発売した。当時映画の封切と相まってこれがとぶように売れた。もちろん洋楽ファンは真の洋盤だと思い、そのレコードの、コール・ケリーノ楽団という初めて聞く名から外国の楽団を想像しながら鑑賞したわけだ。ところがこのコール・ケリーノ楽団なるものは全く実在しない架空の楽団で、一皮むけば北村維章の指揮する東京シンフォニ[illegible]

至ったもの。このレコードの吹込み当時北村維章は北海道に演奏旅行中であったという。ちょうどその頃コロムビアでは『花祭り』(レイ・マーチン管弦楽団)という曲の原盤を輸入したものの、その裏面に組ませる適当なものがない。しかも映画『旅情』の封切が迫っている。そこで急拠主題歌『旅情のボレロ』が選ばれ、ここにその白羽の矢が北村維章にたてられたというのが真相だといわれる。旅行から帰った彼にこの企画が示され、コロムビアのつよい要請で彼は心ならずも屈伏してこれを吹込んだという経過である。彼のいい分をきこう

『私も自分の名を秘して架空の楽団名で演奏することは不本意でもあり、いま以て不愉快だ。そのかわり、時期がくればハッキリ私の楽団演奏であることを発表するということは、コロムビアにも了解を得ている』

ところでもしこの『旅情のボレロ』が北村維章の演奏として日本版で正しく発売されたとしたら、現在の洋楽ファンの好みから推しておそらく、七十枚は売行が減るだろうというのが斯界の某専門家の話である。この辺の情勢を知ればこそコール・ケリーノなる無名の名をでっちあげ、コロムビアの大胆な商策が実行されるに至ったのだとみられているわけだ。当の責任者コロムビアの洋楽課長高木次郎氏は『勿論営利会社だから利潤の追及を考えないとはいえない。しかし現在洋盤とは何かという定義がある訳でもないし、規約が成文化されているわけでもない。従ってあちらで演奏されて、録音されたものだけが洋盤であるという決定もない。むしろいまこれを公けにして洋楽ファンの夢を破り、喜びをうばうことの結果の方が、実害があるのではないだろうか』といっている。

北村維章氏 古関裕而氏

「映画主題歌集」第6集 Theme Songs

Summertime in Venice コール・ケリーノ楽団

Complainte De La Butte コロムビア・シンフォネッタ

Dream (唄)フランク・シナトラ

Not As A Stranger パーシイ・フェイス楽団

EM-75 ¥700.

カウボーイの哀歌 ノーマン・ルボフ合唱団 Songs of the West … Bury me not on the lone Prairie

まだ他にもある

音楽関係者は挙って非難

[illegible]

なった今日、なおそのようなコソクな行為がなされているならばまことに不明朗なことだ。むしろ私は音楽もマーケットを世界に求めて広く海外進出をはかるべきだと思っている』

・古関裕而氏談=『ユージン・コスマンのほかにもリチャード・キャッスルという名もつかったことがあるが、会社の商業政策の一つでこれ位のことは仕方がないのではないか。他社にもこういう例はあるような気がするが…』

ビクター宣伝課長上山敬三氏談=『うちにはそんな例はないしとても気が小さくてそんなことはできない』

レコード倫理委員吉本明光氏談=『私個人としては十一月十日の委員会でこの問題を提案しようと思っている。解釈のしかたにもよるが、実害を蒙ったものがいないという見方をすると大した問題じゃないともいえる。しかしウソをついてまで売らんかなの商業主義の悪い面を利用したコロムビアのやり方には賛成できません』

守田勘彌が再婚？

藤間勘紫恵と話が進む

守田勘弥 藤間勘紫恵

芸界結婚ブームの波に乗って日本舞踊畑にもお目出度い話がいろいろ取沙汰されている。

○…まず守田勘弥が藤間流宗家勘十郎、柴夫妻の愛弟子である藤間[illegible]ころ浮いたウワサもなく、鳴かず飛ばずという神妙さだったが、舞踊が取もつ縁あってか、この美男美女が結ばれることになった模様。昨秋新橋演舞場で催された勘紫恵の第三回発表会の『女人香炉』今春の藤間会『かさね』でもご両人の共演が話題を呼んでいた。なにしろ当の勘弥が長期の旅公演に出ているので詳細は判明しないというのが目下の事情。なお勘紫恵は文化学院出、薬研堀の琴比羅神社神主の長女で舞踊『あかし会』主宰者である。

花柳寿美園と西川鯉寿

揃って近くゴールイン

花柳寿美園 西川鯉寿

○…花柳寿美園といえば日本製薬の女社長として有名な竹内寿恵女史の長女愛子さんのことで、花柳寿美門下の俊秀として第一線の花形であるが、六本木の寿美師匠の近くにある老舗誠志堂書店主の舎弟で慶大出身の柑川進氏と、椎名良一郎氏の媒酌で三十日目出度く式を挙げる。寿美園はこの夏大作『巴御前』を踊ったばかりで女社長ゆずりのヴォリュームのある才媛として天晴れ良き女房ぶりを発揮するだろうとみんなに羨ましがられている。

○…勘紫恵にしても寿美園にしても五尺四、五寸のヴォリューム舞踊手であるが、もう一人はからずも西川流のヴォリューム選手が見事ゴールインする。それは西川鯉三郎の高弟鯉寿で来月二日麹町クラブ関東で城戸松竹社長と師匠鯉三郎の媒酌で『タカヂアスターゼ』の高峰博士の御曹司英三氏と結婚式をあげる。鯉寿は某日本画家の娘さん。鯉三郎の代稽古をしたり『鯉寿会』を主宰したり西川流のホープであるが、相手が今ときめく重役級とあって新婚旅行もアメリカ行きというわけでこれまた羨ましがられている。

お断り=本日は『私のコレクション』は休載します。

映画やぶにらみ

力強く迫る前半

次郎物語(新東宝)

▽…洋画には時々びっくりするほどうまい子役が登場して来るが、この作品で次郎の小学生時代をやる大沢幸浩という少年もなかなかいい。ボソボソとしゃべるセリフ、どことなく愁いをふくんだひとみ、きりっと締った口許。まさに次郎にふさわしいふん囲気をたたえている。子供を使わしては定評のある清水宏監督だけに、一段とこの少年の動きは光彩を放っている。原作はいうまでもなく下村湖人の代表作。往年日活多摩川で島耕二監督により一度手掛けられ、その折も杉狂児の愛児裕之の好演が賞えられたが、大沢少年もこれに勝るとも劣らないできである。

▽…次郎は乳母(望月優子)の手許で育てられて両親(龍崎一郎、花井蘭子)にちっともなつかない。そのくせ神経質過ぎるほど愛情にうえており、しじゅうさびしい気持で一杯だ。だから大人たちの何気ない振舞いも彼の心には一々針のようにピーンと突きささってくる。子供の不幸はみな大人たちのそうしたエゴイズムの所産だと清水監督は強調する。そしてこの主張は恐しいまでに見る者の心に迫ってきていろいろと考えさせられるものがある。家財が競売に付されているシーンなど特にそういった点で緊迫感のこもった印象的なシーンだ。次郎の中学生時代になるのは市毛勝之という少年。これは大沢少年に比較すると格段の差があり、話自体も前半にくらべてダレ気味である。むしろ前半だけで一作にまとめるべきであったろう。(静)

【写真はその一場面、望月優子と大沢少年】

大江美智子一座、一日から大阪中座へ 三十日浅草公園劇場を打上げる大江美智子一座の鈴鳳劇は、十一月一日から二十四日まで大阪中座公演を行う。

美女は大型ドーナツがお好き？

美女はキングサイズのドーナツがお好き？ といっても特別ないわくがある訳ではありません。見られるように特大型のドーナツを両手にしたブロンド美人はハリウッドの新人ルアーナ・リー嬢です。お気付きの方もあると思いますが彼女の着ている黒のジャージーの肩と腰にもドーナツを形どった刺しゅうがしてあります。全米ドーナツ週間にちなんだ一コマです。(UP=サン)

小沢扇太郎選

落ちて二人の行く先々の宿に冷たい夜具の襟　戸塚・小野只男

誰かゞ覗いた障子の穴を急いでふさいだ新世帯　赤坂・遠藤まめ

苦しくて切ないものとは思っていたにこんなに楽しい恋の味　浅草・岩崎節子

月も泣いてる別れの辛らさかすむネオンの遠あかり　文京・木村いつ秋

毛糸玉握りしめれば幸福感が湧いて坊やの背丈見る　東蒲田・大塚筝涼

◇

思わずポストにあたまを下げる早く届けて欲しい文　選者

はと笛

▽…大映の藤田佳子こと愛称ペコちゃんは『浅草の鬼』で抜てきされて以来『湯島の白梅』『珠はくだけず』『七人の兄いもうと』と大役が続き、休むひまもない有様だが、本人は至極元気で大張りきりだ。▽…ところがここに淋しいことが一つだけある。それは彼女は大変な甘えん坊で、キューピーさんと遊ぶのが大好きというネンネ。こう忙がしくてはとてもそれができないというのが嘆きなんだそうだ。ところが去る夕方仕事が終って化粧を落した自分の顔をヒョッと鏡に写してすっかり満足してしまったというのである。つまり彼女の素顔がキューピーそっくりにスベスベしていたからだったとは、いやはや驚いた甘ちゃんぶり。【写真は藤田佳子】

募集 伊藤道郎舞踊芸術研究所ではこのほど新築落成した池袋学園(豊島区日出町三の六)内に同研究所池袋分室を開設十一月六日からレッスンを開始することになり目下生徒募集受付中

愛読者ご優待

10月25日→31日まで

☆東映系27映画封切館へ特別割引でご優待します

☆本紙お馴染み・魚河岸の石松シリーズ

東映作品 石松故郷へ帰る 東京摩天街

☆原案・宮本幹也 ☆監督・小石栄一 ☆主演・堀雄二、柳谷寛、中原ひとみ

☆・監督津田不二夫 主演・堀雄二

☆本社告を切抜きご持参の方に限り学生割引料金(二割強)でご優待いたします

【優待映画館】浅草常盤座 新宿東映 渋谷東映 池袋東映 銀座東映 五反田東映 三軒茶屋東映 新橋メトロ 上野公楽 文京映劇 神田角座 大井銀星座 高円寺エトアール 平井エトアール 小岩映劇 大森ハリウッド 向島金美 赤羽東映 月島東映 深川東映 蒲田東映 川崎東映 反町東映 横浜東映 人形町武蔵野 尾久映画 千住金美

内外タイムス社

29日(土) ラジオ・プログラム	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
朝	7•45 朝の訪問 鎌倉市長 吉田寛 8•05 ヴァイオリン独奏 イダ・ヘンデル 10•15 わが家のリズム	7•30 アジアと日本・オーライシヤー 8•30 大作曲家の時間 プロコフイエフ⑥ 10•15 サングトング ❷	8•35 劇 花ふたたび 9•05 ウツカリ夫人 9•45 奥様への十五分 10•10 福島譜❸ 11•20 恩讐の彼方に	8•10 おしゃべり 楠トシエ 9•30 青春のあるところ 10•40 劇 君ひとすじに 11•15 録音風物誌 紀州みかん(大阪)	7•00 ピアノ 和田肇 7•35 財界アワー 録音構成 年末売出し 8•00 サザエさん 10•00 劇 花はもえている
昼	0•30 浪曲 助ツ人月夜 華井新十郎 1•05 婦人の時間❶詩集 俳優座❷エツサラ母さん 2•05 土曜コンサート BK交響楽団 4•15 物語 公卿唄	0•30 小林隆とブルーハワイアンズ 1•00 オルガン独奏 1•50 日本野球第七戦実況全大阪対ニューヨークヤンキース 西宮球場中継 5•00 LPサロン	0•15 落語 王子の狐 馬楽 0•30 原孝太郎と東京六重奏団 1•25 歌 藤沢嵐子 テイピカ東京 1•40 大菩薩峠 桃川如燕 3•05 渡辺晋とシツクス	0•00 落語❶天災 春風亭とん橋❷そてつの使者馬之助 2•00 マイクの広場 3•00 チヤーリー石黒と東京パンチヨス 4•00 ボストン・シンフオニー・コンサート	0•00 金語楼新作お笑いホール 室内競技 1•00 劇 ささやかな幸福 1•35 やりくりチヨ子さん 2•30 劇 森の憩 3•00 浪曲 相馬大作 梅鶯 4•00 座談会 最近の都政
夜	6•00 みんな唄えば 古賀さと子 中村メイコ 7•30 クイズ大会 玉川一郎 西崎緑ほか 8•15 なつかしのメロデイ特集 藤山一郎 市丸ほか 9•15 劇 おけらの歌 小沢栄 東野英治郎ほか 10•40 幸福を拾つた話 持つべきものはの巻	6•30 ❶独唱 末松岑子❷ピアノ独奏 松野景一 7•00 映画音楽 早坂文雄作品集 話 黒沢明 7•30 青年学級の友へ 中島健蔵ほか 8•05 BK 山城少掾独演会 寺子屋 三味線 鶴沢藤蔵 9•30 第十回国民体育大会を迎えて	6•25 ぴよぴよ大学 7•30 どうしまシヨウ 8•00 コメデイ 花嫁募集中❶森繁久弥 草笛光子 8•30 浪曲 荒神山 虎造 9•10 歌謡曲 9•40 雷電 佐野浅夫ほか 10•15 絵のない漫画 近藤日出造 11•10 第一管弦楽団演奏	6•00 少年宮本武蔵 6•10 陽気な一家 関弘子 7•30 アベツク歌合戦 トニー谷ほか 8•00 素人ジヤズのど自慢 水の江滝子ほか 8•30 ヒツト・パレード 9•00 松竹新喜劇 泣き笑い芝居横町 渋谷天外 9•30 劇 この世の花	6•15 劇 覆面の騎士 7•30 ❶漫才底抜け芸術論一歩・道雄❷福の神 小文治 8•30 いづみシヨウ 雪村いづみ 高英男 9•00 劇 太郎行くところ 司葉子 大川太郎 9•30 古今東西恋物語 筑紫まりほか 10•00 歌謡曲